

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19 年 11 月 10 日

【評価実施概要】

事業所番号	2191500012		
法人名	三菱電機ライフサービス株式会社		
事業所名	中津川ケアハートガーデン グループホームなかむらの郷		
所在地	岐阜県中津川市中津川3042-39 (電話) 0573-62-1130		
評価機関名	NPO法人ぎふ福祉サービス利用者センター びーすけっと		
所在地	各務原市三井北町3丁目7番地 尾関ビル		
訪問調査日	平成19年11月2日	評価確定日	平成19年11月30日

【情報提供票より】 (平成 19 年 10 月 9 日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18 年 12 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 8 人, 非常勤	人, 常勤換算 8 人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り		
	1 階建ての	1 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	51,600 円	その他の経費(月額)	24,900~ 円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	250 円	昼食 400 円
	夕食	450 円	おやつ 100 円
	または1日当たり		1,200 円

(4) 利用者の概要 (平成 19 年 10 月 9 日 現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護1	2 名	要介護2	5 名		
要介護3	2 名	要介護4	名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 75.5 歳	最低	58 歳	最高	91 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	田口医院 勝歯科医院
---------	------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは中津川市のほぼ中心で近くに国道が走り、周辺は商店や、公共の施設等があり、豊かな社会資源に恵まれている。木がふんだんに使われた大きな民家型の建物で、近隣は新興住宅や古くからの民家が混在した土地柄である。経営母体は全国に12ヶ所のグループホームをもつ大企業である。地域性を生かしながら、他のホームとの連携も密にとれケアに活かしている。また、職員の教育や、研修の取り組み、前向きな学習意欲・福利厚生もきちんとして、安定した職場環境がある。今後さらに地域密着型のホームとしての発展が期待される。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	今回が初回の外部評価である。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目②	自己評価は職員全員で取り組み、項目一つひとつを取り上げ、更にケアに活かす計画がある。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
重点項目③	運営推進会議は、2ヶ月1回、定期的に開催し、意見交換をしている。会議後はスタッフで話し合い、改善できる様に努めている。家族の代表者から出された意見で精神薬の使い方や、体力低下予防については、ケア会議を設け解決につなげることができた。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
重点項目④	運営推進会議に参加した家族の意見、苦情、不安等を出し、ケア会議で話し合い、ケアの向上に活用している。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域で開催している「生き生きサロン」や老人会にも参加しており、姿が見えないと、友人が声掛けして誘いに来てくれる。また自治会にも加入して行事案内の連絡をもらったり、地域の五平もち交流会や敬老会などに参加している。月に1回、和菓子を利用者と共に作り、地域の人に食べてもらっている。近隣からの野菜の差し入れがある。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「お互いに支えあい、1人1人の今までの生活と、地域のつながりを大切に心穏やかに、より自立した生活ができるように支援します。」の理念が作られ、廊下に掲示されている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	スタッフ会議で理念について具体的に話し合いがされ、日々のケアの中に繋いでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、地域の交流会（五平もち交流会や敬老会）老人会・生き生きサロン・高齢者(寿) 大学にも参加している。出席し、また、ホーム内で和菓子づくりを月1回行い、利用者が指導して交流を楽しんでいる。近隣から野菜の差し入れもある。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	初回の外部評価で自己評価部分は、全職員で取り組んだ。一つひとつの項目を取り上げて、改善に向けて取り組み、前向きに考えている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、常時、利用者の家族にも出席してもらっている。家族から「体力低下予防」について問題提起があり、話し合った。その結果をケア会議で協議し、サービスの向上に活かしている。</p>		
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>開設準備から市と連携して、相談したりアドバイスを受けてたりして行き来する機会がある。市担当者と協議を行い、問題解決に向けた取り組みができるように働きかけ、サービスの向上に繋げている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ホーム便りを2ヶ月に1回作成して家族に送付している。また面会時に写真を見てもらったり、緊急時にも電話で連絡・報告している。電話報告時も記録を残している。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に意見箱が設置してある。運営推進会議に家族も出席し、意見交換をしている。内容により家族にもケア会議に参加してもらい、運営に反映させている。</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>離職予定者が離職する1ヶ月前には職員を採用し、1ヶ月間の研修を行う。研修中に引き継ぎを十分行い、利用者や家族に紹介して、ダメージを防ぐ配慮をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新入社員には1ヶ月の研修期間があり、母体法人の基礎教育、後半は実習研修プログラムが作成されている。同系列のグループホーム12ヶ所の管理者は年に6回（内1回は1泊）研修があり、他のスタッフは年に4回の研修があり、参加の機会がある。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内5ヶ所のグループホームと交流して情報交換したり、地域ケア会議の出席や岐阜県グループホーム協議会に参加してサービスの質の向上につなげている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用希望時は何度でも見学できる。また、ホーム内で数時間過してもらいホームの雰囲気を経験してから、サービスの利用に結びつけている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一人ひとりの個性を大切にし、その方の持っている力を引き出していけるよう努めている。和菓子作りや小物作りなど、利用者から学んだり、支援したりして楽しく過ごしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>一人ひとりの心を知るケアを絶えず心がけて、意向の把握に努めている。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>1ヶ月に1回ケア会議に家族も参加して介護計画に反映させている。また、スタッフミーティングでもケアやアイデアを出しあい、介護計画を作成して家族や利用者にも了解を得ている。</p>		
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>ケア会議で月1回の介護計画の見直しを行っている。それ以外でも変化がある時は見直しを行っている。スタッフが「気付き」を持った時は、ケア記録に赤線でアンダーラインを引き、他のスタッフにもその「気付き」を共有させ、介護計画の見直しにも活用している。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>喫茶店や美容院に同行する外出支援や通院の介助サービスがある。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望するかかりつけ医であり、往診・通院が出来ている。連携医療機関の医師とは24時間対応の支援をしてもらえる体制がある。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	母体法人として、重度化に対応していく方針を現在検討中である。設定され次第、それに沿って、具体化を進めていくことにしている。利用者や家族の要望に対応できる様安心して暮らしていけるよう取り組みたいとの姿勢がある。	○	出来るならば住みなれたホームを「終の住みか」となる様に前向きに取り組まれたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	昼食後の歯磨き誘導時にやさしく小さな声で言葉かけをして利用者がその気になるまでゆったり待つ光景がみられた。また、排泄誘導にも他の利用者の死角にあるトイレに誘導し、ケアしている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	集団ケアではなく、一人ひとりのペースに合わせ、思いや願いを受け止め、情報を共有している。生き生きサロンや寿大学を受講したり、スタッフが寄り添って日々の生活を支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備ではその料理の得意な利用者を中心に調理し、スタッフが教わっている。調査日の昼食は利用者が作った餃子をいただき、お茶の時間には利用者が作った地域の特産の「からすみ」をいただいた。一緒に作って食べる楽しみが実践されている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週に3回の入浴日があり、毎日の入浴を希望する利用者には対応している。また夜間の入浴を希望する人には夕食後の入浴に対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの個性やペースに合わせ、近所の友人と一緒に生き生きサロンへの参加や寿大学の受講、日々和歌を作る等楽しみを見つけている。書の得意な人にはメニューを各役割をしてもらっている。外食や喫茶店にも、外出出来る様支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	月に2回、買い物や自宅への外出を支援している。	○	新興住宅地と古い民家が混在し、周りは静かな緑多い環境であり、日常生活の中、外気と触れる機会をできるだけ多く作り、日々の散歩等を介護計画に組み込まれる事が望まれる。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホームを中心に広い敷地に柵がしてあり、日中、玄関は開放している。事務所の前が玄関への通路になっており、職員は常時見守りしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	総合避難訓練を10月に行い、災害時、緊急時のマニュアルが作成され、職員が分かるようにしてある。廊下の壁に防災用ヘルメットが全員分が準備され、玄関には腰かけを兼ね、防災用具が収納してある。近隣住民には緊急時の協力を依頼し、連絡網が作成してある。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	母体法人の栄養士のアドバイスを受け、献立が作成され、糖尿病食にも対応している。食事は利用者の要求に応じて調整されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間には大型テレビが設置してある。リビングの大きな窓から太陽の光が心地よく差し込んでいる。中庭に芝生が植えられ、その一角の畑に季節の野菜が作られている。木製のベランダの片隅には大きなハート型のリースが、玄関には職員と利用者の合同作成のタペストリーが飾られている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	広い居室で、畳を敷き和室にも出来る。いつ家族が来ても宿泊出来る様に布団を持ち込んだり、テレビ、亡き夫の位牌や写真などがあり、本人が居心地良く過ごすように工夫がしてある。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。